



▲キャプテンを務める2年生の山田さん

コーチはこの小さな野球チームについて細かく話をしてくれた。
聞けば、練習試合は市内の高校ではなく、愛知県の高校と行っているとのこと。愛知県との県境に接しているこの地域ならではの。
コーチとの会話も終わりを迎える頃、グラウンドの遥か向うから、ただならぬオーラをまとい颯爽と歩いてくる一人の男性。
この人が監督だということはすぐに分かった。ガツチリした体格は、ジャンパー越しからでも十分に見て分かる。
「こいつら、本当に野球が好きなんですよ」監督はこの言葉を皮切りに、チームに対する想いを語ってくれた。
「山で育っているこの子たちは、素直で本当にいい子たち。そんな子たちだからこそ、勝たせてやりたい。夏の大会では、バックスクリーン

に向けて思い切り校歌を歌わせてあげたい。それが指導者である自分の使命であり、責任だと思っている」そんな監督の熱意と勝利への執着心は、この小さなチームの可能性を今まで以上に引き出してくれているのだろう。
とにかく勝ちたい!!
練習の合間にキャプテンの山田君から話を聞くことができた。話して感じたのは、監督が言う通り、本当に素直な子供たちだということ。彼がチームをまとめているんだと思うと、話を聞くのがワクワクしてきた。中学から野球部で活躍している根っからの野球好きらしい。
「部員のほとんどが佐久間出身だから、昔から顔見知りで仲良し。この関係は野球をするのに良くもあり、悪くもある。お互いに言いたいことを

遠くで一人黙々とボールの手入れをしている女子生徒。先程温かいお茶を差し出してくれたマネージャーだ。
野球をやっていた兄に憧れて、他の部活動よりも野球部のマネージャーを選んだとのこと。彼女はキラキラした目で心に秘めたチームへの想いを語ってくれた。
「佐久間地域を盛り上げるためにも、まずは1勝して欲しい！誰よりも私が一番近くてみんなを支えているから」手のひらをギュッと握りしめた彼女の言葉には、チームや地域への愛情がギッシリと込められていた。

厳しく言い合える雰囲気、今このチームに一番必要な事だと思っています」
気づくと、笑顔だったキャプテンの顔が真剣な表情に変わっている。チームの事をよく理解し、考えていると感心させられた。
休日にも練習に励んでいる部員たちだが、夏休みの時間が空いた時などは友達と川遊びに行き、中には釣りを楽しんでいる部員もいるという。
キャプテンは、地元の子供からお年寄りまでおよそ60人が集まり昼食を食べる「ふれあい食事会」という地域の行事に参加している。
「今の自分があるのは、僕を温かく見守ってくれる地域の方々のおかげです」そして続けた。
「今後はとにかく夏の大会で勝利を掴みたい。その勝利の喜びを、先輩や地域の方々、そして監督にプレゼントしたい。それが日頃お世話になっている方々への恩返しです」と、キャプテンが語ったその瞬間、取材をしていた私の胸に、熱い何かが入り込んでくるのを感じた。
幼さが残る笑顔の裏に隠された実力と統率力は、きっと計り知れないほどの力強さを持っているのだろう。



地域の願いと夢を乗せて
夢を追うことに遠ざかっていた自分。ふと気づけば、彼らの姿にいつかの自分を重ねていた。真剣なまなざしに写りこむナイター照明の光は「まず1勝！」よりもさらにその先の勝利を照らしているようだった。
一人一人が同じ夢に向かって走り続けている野球部。どうか彼らの進む先に、光が差し込んでくれますようにと心から願う。
ナイター照明の光の中、無我夢中で追い掛ける白球は、地域の願いと彼らが思い描く夢を乗せ、山あいの星空へ弧を描き続けている。



12月下旬、冷たい空気と澄み渡る星空を、夕焼けのような色彩で、辺り一面を鮮やかに照らしている、ナイター照明の光。
その光に吸い込まれるように訪れた先は、静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校のグラウンド。気迫のこもった声があちらこちらに飛び交い、「カキーン」と星空めがけて打ち上げられた白球は、あたかも待ち合わせの約束をしていたかのようになり、グロープの中へ音をたてて収まる。
グラウンドでは、野球部員たちが夜間練習に身を投じていた。
佐久間地域の小さな野球部
佐久間分校野球部は、1年生4人、2年生8人の部員と1年生のマネージャー1人で構成された小さなチーム。
部員はほとんど佐久間地域で暮らしている。
練習時間は朝7時から始業時間まで自主活動。放課後は、佐久間の山あいに陽が沈んだ後も19時30分まで、汗と土にまみれて毎日練習をしている。グラウンドに立つと、部員一人一人が「こんばんは！」と白い息交じりの太い声を張り上げ、被っていた帽子をとり、挨拶をしてくれた。
グラウンドを見渡していると、女子生徒がそっと駆け寄り、温かいお茶を差し出してくれた。
冷たい空気の中冷えきっていた両手は、その瞬間、息を吹き返したかのように温まっていく。
監督の想い
ベンチの方へ案内されると、若い男性が近づいてきた。学生にしては少し大人っぽい男性。どうやらこの人がコーチのようだ。



暮らしが見える。感じる体温。
Tenryu + Plus

地域の願いと夢を照らす ナイター照明の光

田舎暮らしを照らす「光、case.7「ナイター照明の光」